

やまがたみなみ

国道 112 号 山形南道路 の 計画検討に関する意見聴取を実施します。 ～みなさまのご意見をお聞かせください～

国道 112 号は山形市を起点に酒田市に至る路線で、村山地方と庄内地方を結ぶ主要幹線道路です。
このたび、山形南道路の道路計画の検討にあたり、地域のみなさまや道路を利用される方が重視される項目について、ご意見をお伺いする調査を行いますので、ご協力をお願いいたします。

アンケート調査について

- 調査期間: 令和5年1月25日(水)～令和5年3月29日(水)
○調査内容: 地域のみなさまや道路を利用される方が、山形南道路の道路計画を検討するにあたり、重視する項目について意見を把握するために実施します。

調査方法	実施方法	実施期間
インターネット (WEB)	山形河川国道事務所ホームページに掲載します。 https://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/road/yamagataminami2/	令和5年1月25日(水) ～3月29日(水)
返信用はがき	① 別紙対象範囲沿線にお住まいの方には、 全世帯 に対し郵送にて配布します。 ② 対象区間の利用が多く見込まれる ①以外の山形市、上山市、山辺町、中山町 にお住まいの方には、 無作為抽出した世帯 に対し郵送にて配布します。 別紙 対象範囲沿線 を利用する事業者へ郵送配布いたします。 各自治体の公共施設等に調査票と回収ボックスを設置します。(設置箇所は別紙参照による)	令和5年3月1日(水) ～3月29日(水)

ヒアリング調査について

- 対象期間: 令和5年1月25日(水)～令和5年3月29日(水)
○対象: 別紙対象範囲の沿線地域及び広域的な利用が考えられる地域の自治体、団体、事業者
○調査内容: 地域のみなさまや道路を利用される方が、山形南道路の道路計画を検討するにあたり、重視する項目について意見を把握するために実施します。

※なお、対面での聞き取りを予定していますが、感染症対策を考慮し、調査票送付と電話聞き取りによる対応も可能です。

【発表記者会: 山形県政記者クラブ】

【お問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 山形河川国道事務所
TEL023-688-8421(代表) FAX 023-689-1081
副 所 長 たぐち ひでみ 田口 秀美 (内線 205)
調査第二課長 さとう あつし 佐藤 敦 (内線 451)

●アンケート調査票・返信用はがきの配布

① 対象となる山形市、上山市、山辺町、中山町にお住まいの方

- ・配布方法：郵送にて配布いたします。
- ・配布予定日：3月1日（水）～

② ①以外の方

下図の山形河川国道事務所、山形県庁、村山総合支庁本庁舎、各市町役場、道の駅にアンケート調査票・返信用はがきと回収ボックスを設置しております。

インターネットによる回答も可能です。

●アンケートの回答方法

①インターネットによる回答

検索サイトやスマートフォンから

▶ インターネットによる回答を行う場合は下記の**二次元コード**か、「**山形河川国道事務所**」で検索し、下記のバナーからアクセスしてください。



山形河川国道事務所のホームページから

▶ 詳しくは「**東北地方整備局 山形河川国道事務所のHP**」へアクセス願います。

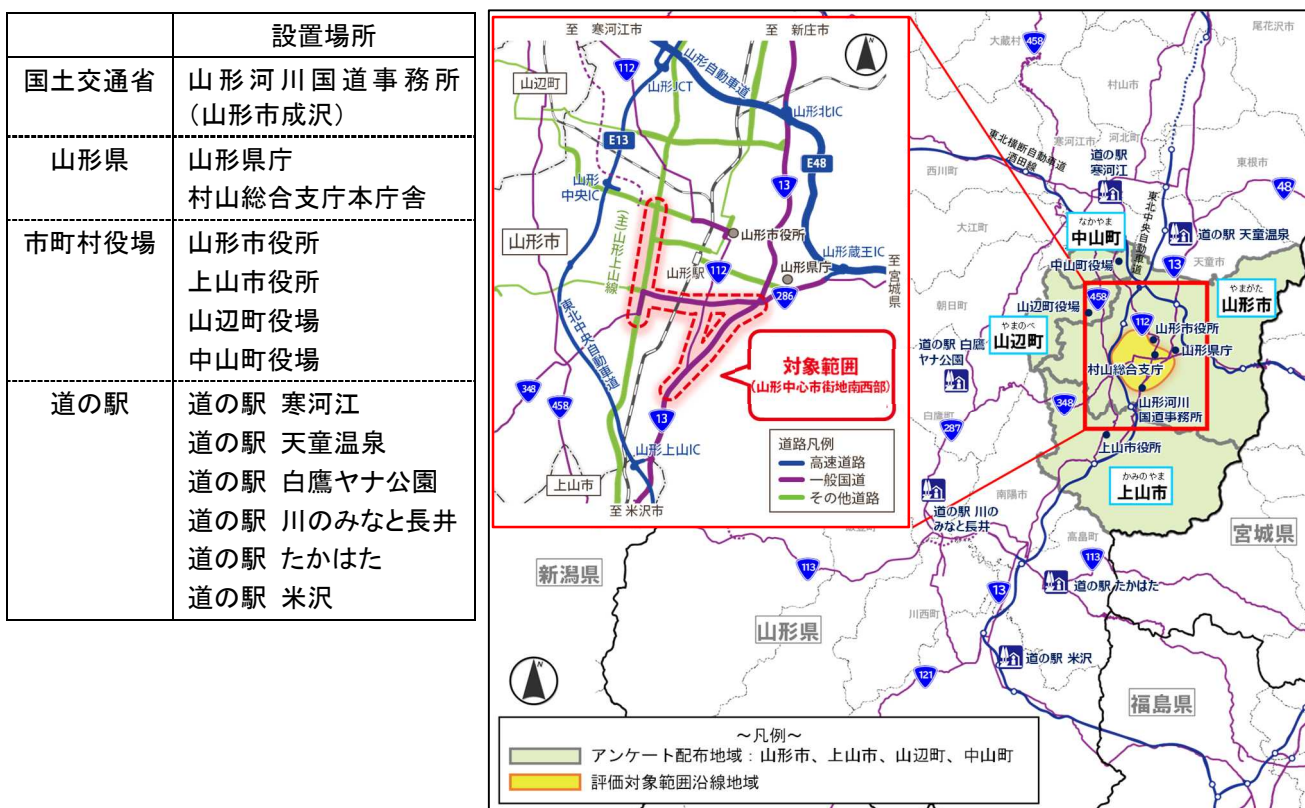


アンケートページ URL : <https://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/road/yamagataminami2/>

②返信用はがきによる回答

返信用はがきに回答をご記入いただき、お近くの郵便ポスト、または下図の各市町村役場、道の駅等に設置してある回収ボックスへ投函してください。

【調査票・回収ボックス設置箇所位置図】





みなさまのご意見をお聞かせください！

やまがたみなみ

国道112号 山形南道路

道路計画検討に関する第2回アンケート調査

全 **4** 問
(約 4 分程度)

● 国道112号山形南道路の道路計画検討にあたり、対応方針(案)を踏まえ、対象範囲の課題解決のために重視すべき項目についてご意見をお聞きするために行う調査です。



今回のアンケートと道路計画の流れ

地域や道路交通の現状と課題の整理

第1回アンケート

道路交通・地域の課題把握

政策目標の設定、対応方針案の検討

今回

第2回アンケート

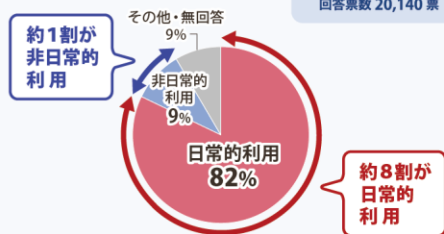
ルート案に対する意見の把握

対応方針の決定

第1回アンケート結果の概要

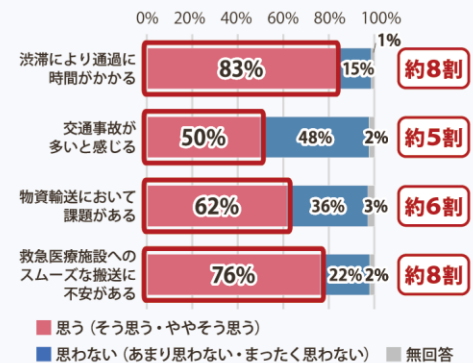
対象範囲の利用目的

住民・道路利用者
回答票数 20,140 票



※日常的利用:「家事(買物など)」、「仕事」、「通勤・通学」の合計
 非日常的利用:「レジャー・ドライブなど」
 その他・無回答:「送迎」、「利用しない」、「その他」、「無回答」の合計

課題の認識



第1回アンケート結果を踏まえた課題の再整理

1 渋滞発生

▼対象範囲の渋滞状況



渋滞発生により、走行速度が低下

2 事故

▼対象範囲の事故類型



渋滞に起因する追突事故が多い

※(主)山形上山線

3 物流・産業

▼対象範囲の状況

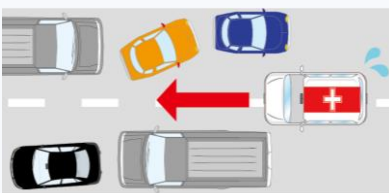


大型車は並走が難しい(白線を踏んでしまう)

※(主)山形上山線

4 救急医療

▼横断面(単路部)

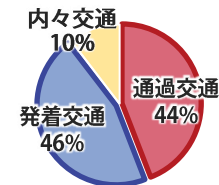


幅員が狭く救急車の通過に時間がかかる

対象範囲の交通特性

通過交通と発着交通、生活交通と物流交通が混在

▼対象範囲の交通内訳



通過交通と発着交通が混在

・交通の役割分担ができておらず、4つの課題が発生
 ・交通の役割分担が課題の解決につながる

通過交通: 山形中心市街地の外側⇨内側を行き来する交通
 発着交通: 山形中心市街地の外側⇨内側を行き来する交通
 内々交通: 山形中心市街地の内側⇨内側を行き来する交通
 出典: ETC2.0データ(R3.10月(平日)、(主)山形上山線)

お問い合わせ

国土交通省 東北地方整備局 山形河川国道事務所 調査第二課

※山形県および山形市と協力してアンケート調査を実施しております。

TEL 023-688-8940

Mail thr-yamagata-minami@ki.mlit.go.jp

(平日 9:00~17:00)

アンケートのご回答は **令和5年3月29日(水)** までをお願いします。

対応方針（ルート帯）の考え方

ご意見を踏まえて、以下の8項目をルート帯を検討する上で重視すべき事項として考えています。

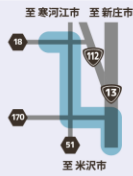
- 政策目標**
- ① 必要な交通容量の確保
 - ② 安全な交通環境の確保
 - ③ 円滑な物流ルートの確保
 - ④ 安定した救急搬送ルートの確保

- 配慮すべき事項**
- ⑤ 生活環境
 - ⑥ 自然環境
 - ⑦ 工事の影響
 - ⑧ 経済性

山形中心市街地南西部の地域や道路の課題解消のため、**2つの案を立案しました**

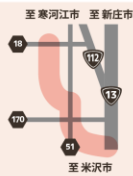
案1 バイパス案（現道活用案）

県道蔵王成沢長谷堂線と（主）山形上山線を活用する案です。



案2 バイパス案（別線整備案）

一部現道活用しつつ、バイパス整備により現道課題箇所を解消する案です。



対象区間

山形市西崎～山形市蔵王間



ルート案		案1 バイパス案（現道活用案）	案2 バイパス案（別線整備案）	
ルート概要		現道課題箇所の改良を行い、現道を活用する案	バイパス整備を基本とし、一部現道活用により、現道課題箇所を解消する案	
政策目標	必要な交通容量の確保	交通容量の確保 多車線化により、交通容量が確保される	バイパス整備により、交通容量が確保される	
	安全な交通環境の確保	利用交通の分担	現道の多車線化のため、 利用交通の混在は解消されない	バイパス整備により、 利用交通の分担が図られる
		安全な交通環境	多車線化により現道の渋滞緩和が図られ、渋滞に起因する事故が減少	バイパス整備により現道の渋滞緩和が図られ、渋滞に起因する事故が減少
	円滑な物流ルートの確保	物流経路の走行性、速達性の向上 現道の多車線化により物流ルートの渋滞の緩和を図り、走行性・速達性が向上	バイパス整備により、現道の渋滞緩和を図り走行性・速達性向上を図るとともに、新たな物流ルートを形成し、産業拠点へのアクセス性が向上	
安定した救急搬送ルートの確保	安定した救急搬送ルート 救急搬送ルートの渋滞の緩和により、救急搬送の安定性、速達性が向上	救急搬送ルートの渋滞の緩和により、救急搬送の安定性、速達性が向上するとともに、救急搬送ルートの選択肢が拡大		
その他の配慮事項	生活環境	沿道環境への影響	支障物件数が多いと考えられ、 改変範囲が広い ため、 沿道環境への影響は大きい	支障物件数が少ないと考えられ、 沿道環境への影響は少ない
		道路利用者への影響	市街地部での中央分離帯設置により、 出入り制限等の利用形態の改変を伴う ため影響は大きい	バイパス区間が主であり、 現道活用区間における利用形態の改変の影響は小さい
	自然環境	地形・自然環境の改変	現道改良のため地形改変が小さく、 自然環境への影響は小さい	一部区間を除くバイパス整備のため、 地形改変が発生し自然環境への影響が懸念される
工事の影響	現道交通への影響	現道改良のため、 施工時に比較的長い区間・長い期間で交通規制が必要 となるため、 現道交通への影響は大きい	現道の工事は一部区間のみであるため、 施工時の現道交通への影響は小さい	
経済性	整備に関する費用	約730～830億円	約620～720億円	

※1 現時点の概算であり、今後のルート検討、土地利用状況等により、金額が変更となる場合があります。

※2 桃字：メリット、緑字：デメリット